

(A: 目標を上回った B: ほぼ目標どおり C: 目標を下回った)

滋慶学園高等学校の三つの方針

- (1) 「育てたい生徒像」 ○自ら学び、自ら考える力を身につけ、生涯を通じ学ぶ姿勢を身につけることができる生徒 ○礼節を重んじ、思いやりの気持ちが持てる心豊かな生徒 ○自主的・自律的に行動でき、地域・社会に貢献できる生徒
○国際的視野を身につけ、多様な文化を理解し、将来グローバルに活躍できる生徒
- (2) 「学びの内容・方法」 ○通信制・単位制の特色を生かし、個性を尊重し、一人ひとりの夢の実現のため多彩な専攻・コースを用意し、自分のペースで学べます ○多様なニーズに対応するカリキュラム・スクーリングを設定し、熱意と経験を備えた教師陣がしっかりサポートいたします
○きめ細かく、丁寧な面接指導・添削指導により、単位修得はもちろんの事、将来の進路をともに考え実現に向けてサポートいたします
- (3) 「求める生徒像」 ○志・目標に向かい努力できる生徒 ○チャレンジ精神に富み、自らの限界に挑戦できる生徒 ○相手の立場に立って物事が考えられる心豊かな生徒

重点目標	分掌	具体的目標・方策	評価基準	中間評価	中間進捗状況	年度末評価	年度末達成状況	次年度への課題および改善方策
1-1 三つの方針の実践・推進	学年	【自ら学び、自ら考える力を身につけ、生涯を通じ学ぶ姿勢を身につけることができる】 総合的な探究の時間や特別活動を中心に主体的な学習の取り組みを推進する。また生涯を通じ学ぶ姿勢を身につけるため、取り組むテーマ・内容設定を工夫する。	具体的に主体的な学習の取り組みを推進できたか。 取り組んだテーマ・内容は生涯を通じ学ぶ姿勢を身につけるために適当か。	A	各学年で総合的な探究の時間にてSDGsや環境をテーマに取り組んだ。 1年次はグリーンカーテン、2年次は水耕栽培に取り組み、CO2、温暖化対策について調べた。3年次はSDGsについて調べ学習に取り組んだ。	A	1年・2年次はグリーンカーテン、水耕栽培に関するレポートまとめを作成し、3年次はSDGsの調べ学習の発表を行った。また卒業制作として、卒業式に展示するモザイクアートの制作に取り組んだ。 卒業式での展示は来賓や保護者より良い評価を頂いた。	今回の取り組みを単年度で終わらせるのではなく、継続的に実施し、また発展をさせていく。
	教務	【自ら学び、自ら考える力を身につけ、生涯を通じ学ぶ姿勢を身につけることができる】 各教科・科目で観点別評価(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」)の評価基準・評価方法の作成	各教科・科目で観点別評価の評価基準を作成したか。 各教科・科目で観点別評価の評価方法を作成したか。	A	各教科・科目で観点別評価の評価基準・方法を作成した。評価の基準や方法について、他校の情報収集を進めて、見直しを進めていきたい。	A	各教科・科目で観点別評価の評価基準・方法を作成した。前期の成績評価の際に、昨年度までの評価の結果と比較し、妥当性のある評価基準になっているかの確認を行い、教科会議にて評価基準について調整を行った。	新課程における新評価のため、次年度以降も評価基準や評価方法の見直しや、他校の情報収集も継続的に進め、よりよい評価基準、方法にしていく。 また各教科・科目において、「主体的に学習に取り組む態度」をどのように身につけていくか具体的に考え取り組んでいく。
	総務	【礼節を重んじ、思いやりの気持ちが持て、心豊かになる取り組みの実践・推進】 総合的な探究の時間や特別活動を中心に、取り組みを実践・推進する。	具体的な取り組みを実践・推進することができたか。	A	「今日も笑顔であいさつを」を標語にし、オリエンテーションで挨拶の励行を促した。 ITリテラシーにてSNS等のネットモラルについて学んだ。 姉妹校看護専門学校の副校長より、コミュニケーションに関する特別講義をして頂いた。	A	朝に生徒玄関で、教員の挨拶運動にも取り組んでいる。コミュニケーションが苦手な生徒もいるため、少しずつできるようになってきている。	挨拶やコミュニケーション能力の向上の取り組みの他、道徳教育の充実させていきたい。
	総務	【自主的・自律的に行動でき、地域・社会に貢献できる】 総合的な探究の時間や特別活動を中心に、取り組みを実践・推進する。	具体的な取り組みを実践・推進することができたか。	B	美作市クリーン作戦に参加し、地域の清掃活動に貢献した。	B	地域の子ども食堂へのボランティア参加を行った。	地域連携やボランティア活動など、体験できる機会の提供を増やしていく。
	総務	【国際的視野を身につけ、多様な文化を理解し、将来グローバルに活躍できる】 総合的な探究の時間や特別活動を中心に、取り組みを実践・推進する。	具体的な取り組みを実践・推進することができたか。	B	後期に実施の国際文化交流会(ベトナム・スリランカ)に向けて、対象国についての調べ学習を行った。	B	地元在住の外国人の方との国際文化交流会(ベトナム・スリランカ)を実施し、ベトナム、スリランカの国・文化について学び、各国でのカレーづくり体験を行った。	ネイティブ講師による外国語の講座や、海外との交流の機会を増やしていきたい。
1-2 三つの方針の実践・推進	教務	【多彩な専攻・コースを用意し、自分のペースで学べる】 通学5日・3日・1日、通信コースや専攻など、多様な生徒のニーズにあった専攻・コースを運営する。	多彩な専攻・コースを用意し、運営しているか。	A	通学5日・3日・1日、通信コースといった自分のスタイルにあった学び方ができるコースの他、スポーツ(剣道)に特化した剣道専攻や、医療福祉について学ぶ医療福祉専攻など、専門分野についても学べるコースなど、多彩なコースの運営を行っている。	A	通信コースでは、日常はゴルフに集中して取り組み、全国大会に出場した生徒や、芸能活動と勉強の両立し頑張って卒業した生徒もいた。経済的理由で、週3日・週1日コースでアルバイトをしながら頑張っている生徒もおり、多様なニーズに対応したコース運営を行っている。	コースについては、社会や業界のニーズ、生徒のニーズにあったコース内容や運営ができていないかを常に見直しを行い、改善していく。
	教務	【多様なニーズに対応するカリキュラム・スクーリングを設定する】 オンライン教育の充実化	オンライン教育の充実化に取り組めたか。	B	Microsoft365 Teamsを活用したオンライン添削やZOOMによる遠隔地生徒のサポートを行った。 ICT教育委員会を開催し、オンライン教育の充実化に向けて取り組んだ。進路指導に役立つオンライン動画の制作を行った。	B	韓国でK-POPデビューを目指している生徒など遠隔地にいる生徒に対して、日常はオンライン教育でサポートを行った。 また全教職員対象に学内でICT研修を行い、全体のスキルUPを図った。	学校独自のオンラインコンテンツを充実化させていく。
	総務	【熱意と経験を備えた教師陣がしっかりサポート】 教員の資質向上の取り組みを実施する	教員の資質向上の取り組みを実施することができたか。	A	学園グループが実施する研修の他、全国高等学校通信制研究会などに参加し、資質向上に取り組んだ。	A	学園グループの研修や学内・学外の研修に参加の他、年末に各教員が自己評価シートを作成し、自身の振り返りを行い、校長による面談で、今後の改善や目標等について話し合った。	外部講師による勉強会や、他校との交流を促進し、教育の取り組み事例を学ぶことで、研鑽の機会を与えていきたい。
	教務 事務	【きめ細かく、丁寧な添削指導の推進】 カリキュラム・レポートアンケートの実施と改善	カリキュラム・レポートに関するアンケートを実施したか。 カリキュラム・レポートアンケートの結果を踏まえ、改善しているか。	B	前期終了時にカリキュラムアンケートを実施した。アンケート結果は、校長・副校長・授業担当者にフィードバックし、授業改善に活用した。	B	後期終了時にレポートアンケートを実施した。アンケート結果は、職員会議にて報告し、今後の改善に活かしてもらうように伝えた。	カリキュラムアンケートやレポートアンケートの結果を踏まえた改善が行われているかの確認や、実施時期の妥当性、昨年度比較による分析等を行い、よりよい指導を行えるように進める。
進路	【将来の進路をともに考え実現に向けたサポート】 進路に関する支援体制の整備と充実化	進路に関する支援体制は整備できているか。 進路に関する支援は実施しているか。 進路に関する支援は充実しているか。	A	進路の手引きを配布し、年度初めに進路ガイダンスを実施した。将来の進路に向けてはキャリアの授業において実施している。 総合選抜、就職試験、推薦入試など試験スケジュールに沿って、事前に面接対策やエントリーシートや小論文の添削など、生徒一人ひとりに対して行っている。	A	進路の手引きや、進路や小論文、面接対策の動画を作成し、遠方の生徒も支援できるような体制づくりを行っている。またキャリア授業や特別活動等にて、専門学校の見学や体験実習、様々な職業を体験できる職業体験セミナーの参加などを行い、進路選択の支援を行っている。 一人ひとりの夢の実現に向けて、個別に試験対策のサポートを行っている。	進路の方向性が決まらず決定が遅くなり、試験に向けた準備期間が短くなり試験が上手いかないケースもある。1年・2年次からの早期対策の充実化を推進していく。	

重点目標	分掌	具体的目標・方策	評価基準	中間評価	中間進捗状況	年度末評価	年度末達成状況	次年度への課題および改善方策
1-3 三つの方針の実践・推進 「求める生徒像」	広報	「求める生徒像」を広報活動において周知する	「求める生徒像」を広報活動において周知しているか。	B	学校説明会や入試対策セミナー等で周知を行った。	B	入試対策セミナーを実施し、作文や面接対策における自己PR等にて、求める生徒像について説明し、アドバイスをを行った。	募集要項やパンフレット等に掲載し、周知を進めていく。
2 魅力ある学校づくりと広報活動	教務 総務 広報	【特色ある教育活動の実践と広報発信】 姉妹校専門学校と連携した高専連携授業の実践	姉妹校との連携授業を実施しているか。 姉妹校との連携授業を広報活動で活用できているか。	A	専門学校の教員による体験実習や、学校・学科や職種・仕事紹介などキャリアに関する連携授業を実施した。SNSやブログ等による紹介で情報発信を行った。	A	専門学校との連携授業を実施し、広報活動でも活用している。夏のオープンスクールは姉妹校専門学校の教員による職業体験実習を企画・実施し、協力を頂いた。また学園グループが開催している職業体験セミナーにも参加し、キャリア教育の充実化に取り組んでいる。	
	広報	地域に根差した広報活動の実践	地域に根差した広報活動を実践しているか。	A	学校認知に向け、小学生を対象としたロボット工作教室や、中学生を対象としたプログラミング入門セミナーを実施した。 地元行政の広報誌に隔月で学校の取り組み紹介を掲載してもらっている。	A	秋に、地域の中学校教員を対象とした教員対象学校説明会を実施した。毎月、イベント案内を持って近隣の中学校訪問を行い、中学校からの信頼される学校を目指し取り組んでいる。 また地域のケーブルテレビや新聞で、学校行事・イベントの取材してもらい、発信をして頂いている。	通学圏の学校認知は広まっているが、準通学圏の認知はまだ浸透していないため、重点的に取り組んでいきたい。
3 安全・安心で快適な学校づくり	生徒	【交通ルールの遵守と生活マナーの向上】 自転車や原動機付自転車の交通ルールの徹底指導 薬物乱用防止の指導	交通事故防止の指導されているか。 薬物乱用防止の指導がされているか、	B	地元警察署の協力のもと、交通安全講習会を実施した。 後期に薬物乱用防止講座を実施予定	A	交通安全講習会と薬物乱用防止講座を実施した。	自転車においてもヘルメット着用の努力義務など法改正があるため、対応した指導を行っていく。
	保健	【健康・安全・防災教育の推進】 健康管理・意識の向上や避難訓練を通して防災意識の向上を図る。	健康に関する取り組みを実施しているか。 防災に関する取り組みを実施しているか。	B	地元の栄養委員、愛育委員会の協力のもと、食育講座を実施した。 10月に防災・防火訓練を実施予定。	A	食育講座と防災・防火訓練を実施、健康管理の意識の向上と、防災意識の向上を図った。防災・防火訓練は地元消防署と連携し、高所からの避難具の実演をして頂いた。	様々な状況を想定した防災・防火訓練や、不審者の侵入対策・訓練などに重点的に取り組んでいきたい。
	保健 事務	【安全・安心で快適に学習できる環境づくりの推進】 校舎・施設設備・環境の安全点検や管理の徹底	施設設備の安全点検を行っているか。	A	職員の施設設備の点検の他、学校薬剤師と連携し、光環境測定やCO2濃度測定、また月1回、管理業者による施設設備の点検を実施している。 害虫点検、消防設備点検、電気設備点検、水質点検を実施している。	A	施設設備の安全点検は定期的に行っている。 今年度は専門家による非構造部材の点検を行った。	非構造部材の点検結果を踏まえ、体育館の設備等の修繕・補強を進めていく。